

JICAが行う教育現場への協力

日本



途上国

国際理解教育・開発教育の協力、学校への出前講座、海外協力隊経験者の教員との連携など。

「信頼で世界をつなぐ」を合言葉に、途上国への協力と、途上国で得た経験や知見を日本に還元。

貧困による就学率の低さを改善したり、難民の子どもに対する教育協力など、質の高い教育環境をつくるための協力事業を実施。



特集 学びの現場

未来の社会を創る

子どもたちの学びを支えることは、未来を創ること。外国にルーツを持つ子どもたちが増える日本の学校、海外で貧困や紛争などで教育を受けられない子どもたち——子どもたちの学びの現場で、JICAが行っている取り組みを紹介する。

教育は、未来を創る礎である。なぜなら10年後、20年後の社会を動かしていくのは、今の子どもたちだからだ。

人それぞれが持つ多様な背景や文化などを認め合い、「違い」を豊かさとして受け入れ、そのなかで育つ子どもたちのための学校を創っていく——それが今、世界がつながるグローバル化が進み、日本でも暮らす外国にルーツがある人々が増えるなかで教育の現場に求められていることだ。

現在、日本に住む外国人は約289万人、小・中学校の学齢期にあたる外国人の子どもの数は約12万4000人といわれている。近年は、暮らしのなかで外国にルーツを持つ人々と身近に接するようになってきており、子どもたちも地域の学校でいっしょに学ぶ時代になっている。

途上国への国際協力を行うJICAにとって、海外への協力事業で得た経験や知見を国内に還元することは重要なテーマだ。子どもたちが広く世界を知り、自分に何ができるかを考え、取り組むようになることを目的に、JICAは国際理解教育や開発教育の支援を行ってきた。

日本で暮らし、学んだことに誇りと自信を

JICA横浜の技術顧問（多）

さらに、支援を考える際には、次のような視点が大切だと語る。「子どもたちにとって、今住んでいる日本の言葉を学習することはとても大切なことです。しかし同時に、それぞれの子どもたちのルーツである国の言語や文化を尊重し、子どもたちがアイデンティティを形成するということへの支援を欠かすことができません。そのことがあってはじめて、自分のルーツである国への誇りと日本で学び育つことへの自信との双方を感じられるようになるのだと思います。そして、そのような発想に立ち、地域で暮らすすべての子どもたちがいっしょに安心して学び、育つという学校を、皆で創造して

文化共生」を務める滝坂信一さんは、「JICAは海外協力隊を派遣していますが、そのなかには多くの学校教員がいます。派遣された隊員は、任地において「外国人」という立場で生活し、課題に向き合い、活動を行います。そして、自ら切り開く力、対話する力、自分の考えを伝える表現力を身につけて帰ってきます。そのような人々が今、新たな視点から日本の学校現場で活躍し始めています」と話す。

現在、滝坂さんが中心となってJICA横浜と神奈川県教育委員会がプロジェクトチームを結成し、「学校での外国につながるのがある子どもたちの学びを支援する」ための仕組みづくりを進めている。同時に、海外協力隊の経験を学校現場でどのように生かすかを考える、現職教員の定期的な集まりも始まっている。

また、神奈川県内のいくつかの小学校では、スペイン語を母語とする子どもたちの指導に、JICAが中米のエルサルバドルでの協力事業で作成したスペイン語の算数教科書の活用が試みられている。滝坂さんは「日本語の理解や表現が難しい子どもが入学してきたとき、その子どもたちの学校生活における困難がどこから来るのかについて、多角的な見立てとそれにもとづく支援が必要」と指摘する。

いくことを心から願っています——その先に、世界と共存する日本の社会の豊かな未来があると滝坂さんは考える。

「そのような学校を実現していくためには何をすればいいか。新しい学校の姿を創造することに挑戦していこうとする、協力隊を経験した教員がたくさんいます。この人たちの果たせる役割はとても大きい。私は心からそれに期待しています」

JICAは長年、貧困や紛争などが原因で学校に行けない途上国の子どもたちに教育支援を行ってきた。そこで培った経験を、これからは国内でもさらに生かしていく。

JICA横浜 技術顧問（多文化共生） 滝坂信一（たかさか・しんいち）さん

1950年、福島県出身。独立行政法人国立特殊教育総合研究所（現・国立特別支援教育総合研究所）研究室長、東京農業大学教授、帝京科学大学教授、JICA海外協力隊技術顧問（担当：障害児・者支援）などを歴任。



神奈川県愛川町立中津小学校の日本語指導教室。この教室では、JICAが作成したスペイン語の算数教科書（*3）を授業で参考している。

*3 スペイン語算数・数学教材の詳細はこちらから。
https://www.jica.go.jp/project/elsalvador/004/materials/index.htm

*1 法務省統計（2020年6月末現在）より。
*2 2019年5月1日を調査基準日とする文部科学省「外国人の子供の就学状況等調査結果」より。